



学校だより

かけ橋

パート 2

横須賀市立汐入小学校 校長室

2012. 6. 29

No. 6

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

授業参観

6月22日（金）全学年で、授業参観と懇談会がありました。授業の様子を見て回りました。1年生から順番にまわったのですが、1年生の教室でだいぶ時間を使いました。

1年生の教室は、国語の授業でした。

「ききかたの あ、い、う、え、お」

聞き方で気をつけることで、「あ」で始まる言葉です。何でしょう？真剣に考えていると、誰かが、「相手？」とつぶやきました。「そうです。相手を見て。」先生が言いました。

なるほど、そうやって、考えるかと、私も初めて気づきました。では、「い」から始まるのは何だろう。分からなくて、ついつい長い時間、1年生を見てしまいました。参観しているお家の方々も真剣に考えていました。1年生の内容でも、扱い方によっては、大人も真剣に取り組めるのだと感心しました。ちなみに、「お」は、何だか分かりますか？

2年生は、先日の教育課程の時の授業のよい雰囲気をそのままに、音楽の授業をやりました。教室ではなく、オープンスペースで、丸くなってやりました。子どもたちは、文字通り、音やリズムを楽しんでいました。

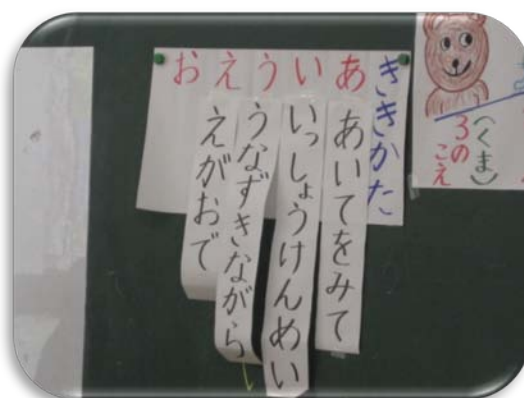
3年生は、算数の授業です。ティームティーチング（TT）という指導方法で、2人の先生が入り授業を進めます。今回は、一人の先生が進めて、もう一人の先生が、個別支援をするという手法でしたが、他にも様々な手法があります。

4年生は、好きな俳句を選び、工夫して読んでいました。5年生は、キャンプに備えて、カレー作りに挑戦しました。

6年生は、国語で、ディベートに取り組みました。テーマは、「生まれ変わるとしたら、男か女か」でした。自分の考えをしっかりと持ち、相手の言うことを理解しながら、説得しようとすることを学びます。最近の注目されているコミュニケーション能力を高めるための学習です。途中で、お母さんたちの経験に基づく深い言葉を聞き、子どもたちも女性ならではの良さに気づいたようです。

25日（月）の朝会で、子どもたちに聞いてみました。「授業参観に来たお家の人にどんなことを言われましたか？しかられた人？ほめられた人？何も言われなかった人？」

結果は、しかられた人は、ぼちぼちでした。ほめられた人は、少々。一番多かったのが、何も言われていないでした。子どもたちがあんなにがんばっていたのに、何も言われないと子どもが感じているのは、とても残念に思いました。



敬虔

あるクラスの学級だよりの道徳の時間に書いてありました。今時の小学生は、難しいことを勉強するのだなと思い、授業の様子を見に行きました。

「学級だよりを読みましたか？難しい漢字が書いてありました。『けいけん』と読みます。どんな意味か知っていますか？」

ある子が、「聞いたことある。とってもいいけいけんしたね、と言われたことがあります。」先生は、「それとは、ちょっと違います。辞書で調べてみましょう。」

辞書によれば、「深く敬って態度をつつしむさま。特に、神仏につつしんで仕えるさま。」と書いてありました。先生は、

「ちょっと、難しいことが書いてあるね。それでは、どんなことなのか、道徳の教科書を見てみましょう。」

教科書には、斉藤隆介さんの「花さき山」というお話が載っています。あらすじは、

「山奥に迷い込んだ少女が、山姥に会います。少女は、山奥に咲いているきれいな一面の花畑を見て、なんで咲いているのか疑問に思っていました。山姥が教えてくれました。この花は、ふもとの村の人が、やさしいことをするとひとつ咲く。ひとつひとつの花が咲いている訳を具体的な場面を通して話してくれるのです。最後に、山姥が言います。「この花さき山、いちめんの花はこうしてさいたんだ。つらいのを辛抱して、自分のやりたことをやらないで、涙をいっぱいためて辛抱すると、そのやさしさとけなげさがこうして花になって咲き出すのだ。」



物語のあとに、こんな質問が載っています。

1. 花が咲くわけを知って、少女は、どんな気持ちになったでしょう。
2. 木や花などを見て、「ふしぎだな。」と感じたときのことを、思い出してみよう。

小学校学習指導要領の道徳編の4つの内容の一つに、以下のようなものがあります。

主として自然や崇高なもののかかわりに関すること

そして、このうち、より具体的な学年別の内容として、以下のように書かれています。

- 1・2年生・・・美しいものに触れ、すがすがしい気持ちを持つ。
- 3・4年生・・・美しいものや気高いものに感動する心を持つ。
- 5・6年生・・・美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。

小学生に理解させようとすると、難しいかもしれません。しかし、分かるか分からないかではなく、心で感じてほしい内容です。「学力向上」が叫ばれる昨今、テストの点数には表れない、とても大切なことなのではないでしょうか。

ちなみに、ある先生に、この話をして、「花さき山」を読んでもらいました。

「小学生の時に、読んでもらったことがあります。そのときは、何のことかよく分からなかったけど、妙に心に残っていました。そのころ感じた気持ちがよみがえってきます。今、改めて読んでみると、大切なメッセージがあることに気がつきました。」

目にうっすらと涙をためながら、読み終えて、こんな感想を語ってくれました。汐入の子どもたちも、こんな優しさを持つ大人に育って欲しいと願っています。